

新宿食支援研究会 ワーキンググループ 「コンセプト」

食姿勢を再考する

～新しい用具開発に向けて～

食事姿勢を見たことがありますか？

食事の姿勢はどういう状況だったか

- ・頭が前に倒れている
- ・身体・頭が横に傾いている
- ・食具(箸・スプーンなど)が上手く持てない
- ・足がきちんと床に着いていない

どんな工夫をしていたか

- ・身体と椅子の隙間にタオルを入れていた
- ・椅子の座面にクッションを乗せていた
- ・車いすをティルトして座位保持をしていた
- ・台を足の下に置いていた

そのような人たちに対して...

何が有ったらいいんだらう？

既製品では、個別に合うものが少ない

そうだ！！

だったら新しい用具を作ろう！



コンセプト結成の契機

ワーキンググループ「コンセプト」構成メンバー

福祉用具専門
相談員

理学療法士

管理栄養士

メーカー

訪問歯科

歯科衛生士

ケアマネー
ジャー

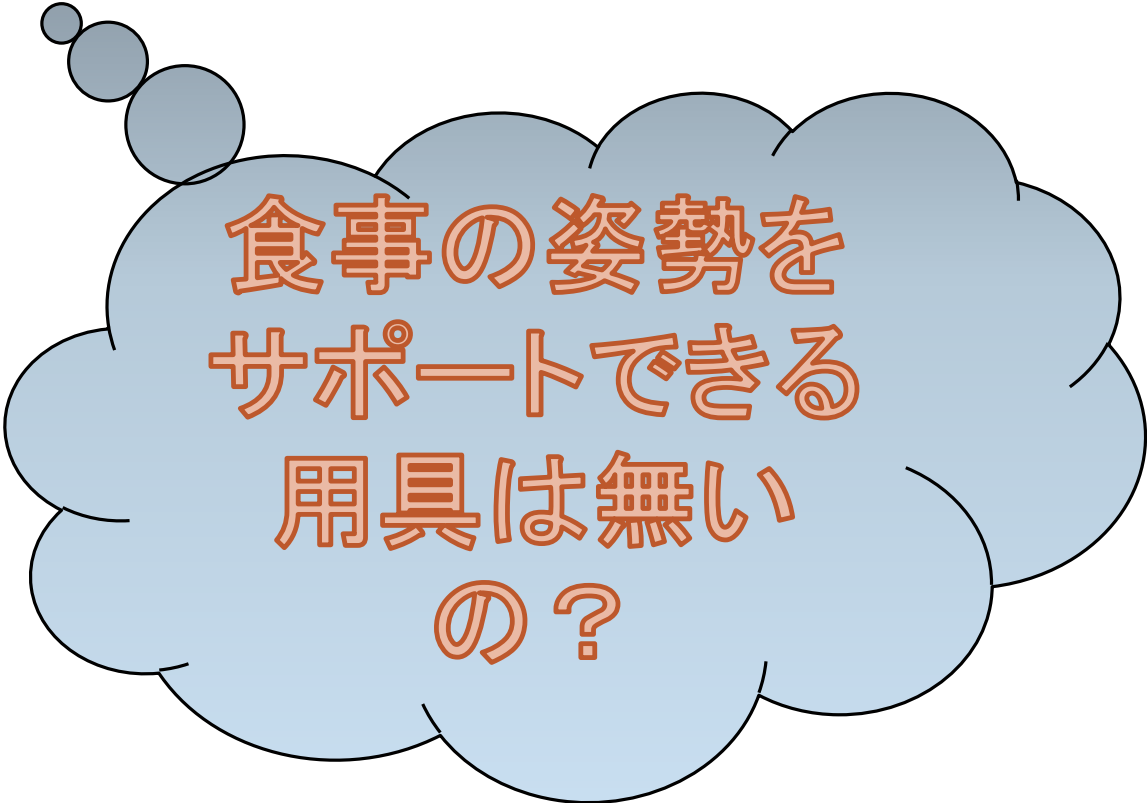
ホームヘル
パー

福祉用具専門相談員と食との関わり

- ・姿勢等に関わる環境づくり
- ・介護食などの提供
- ・自助具などの提供

コンセプト始動～H26.7月～

歯科医師からの視点



食事の姿勢を
サポートできる
用具は無い
の？

在宅での使用状況

(新宿区内一部事業所データ)H27.4終了時点

車いす利用者:201件

ティルト・リクライニング:10件⇒全員要介護5

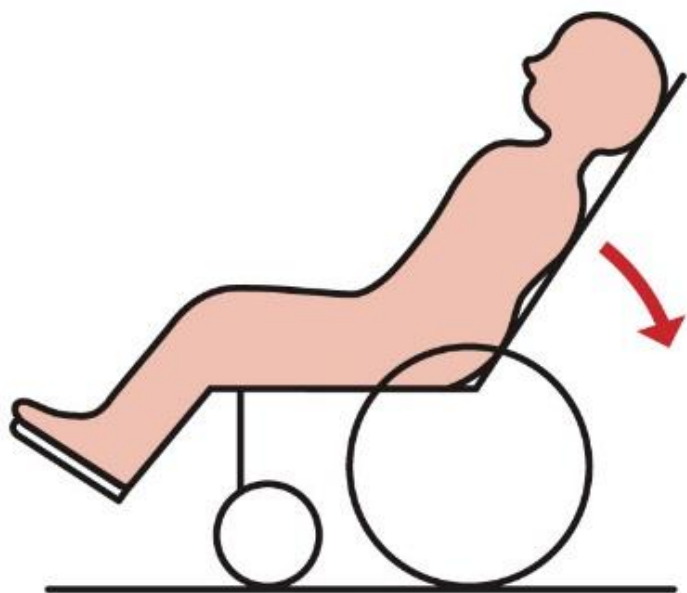
付属ヘッドサポート使用:1件⇒座位保持に使用。

ほぼいなかった・・・

全員がテイルト・リクライニング車いす使用??

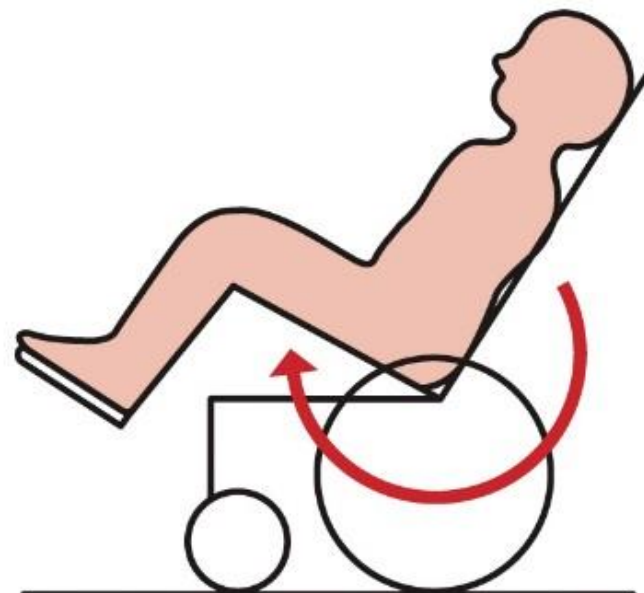
「ティルト」とリクライニングの違い

・背もたれだけが倒れる



リクライニング

・座位を保ったまま傾ける



ティルト

ファンタジスタの事例

まさか、こんな使い方が！



転換点

- ・足置き
- ・肘置き
- ・テーブル
- ・↓

それって車いすじゃなくてもできるのでは？

そもそも食事ってどこですか？

いすに座って食事する！

↓

じゃあ椅子を考えてみよう！

食事の基本姿勢と座位の種類

①食事の基本姿勢

あごは引き気味

からだとテーブルの間に
握りこぶし1つぐらいの
すき間

テーブルの高さは
腕を乗せて、ひじが
90度に曲がるくらい



背は90度

イスの座面の高さは
ひざが90度に曲がるくらい

足の裏は床
(難しい場合はフットレスト)に
きちんとつく高さ

座位の種類

①能動座位

- ・食事を摂ったり文字や絵を描いたりといった機能的活動を行うための座位

重心が前に出る姿勢

座位の種類

②安楽座位

・くつろぐのにふさわしい姿勢

つまりソファーに座り込んだような姿勢

重心が後方に移動して
背中に体重がかかる姿勢

能動座位を取るために必要なこと

体幹をおこす



骨盤を立てる

それならば...

- ・現在の自宅環境に適したもの

より簡易的に座りやすい物を作れないか

骨盤を立たせるヒントをさがす

そこで

- ・「食姿勢」というキーワード(ファンタジスタ考案)

食事姿勢＝「食姿勢」では無い！

「食姿勢の定義」

「その方にとって最も安心・安全に
楽しく食事ができる姿勢」

feat. ファンタジスタ

コンセプトの使命と今後の方向性

「定義」が決まる

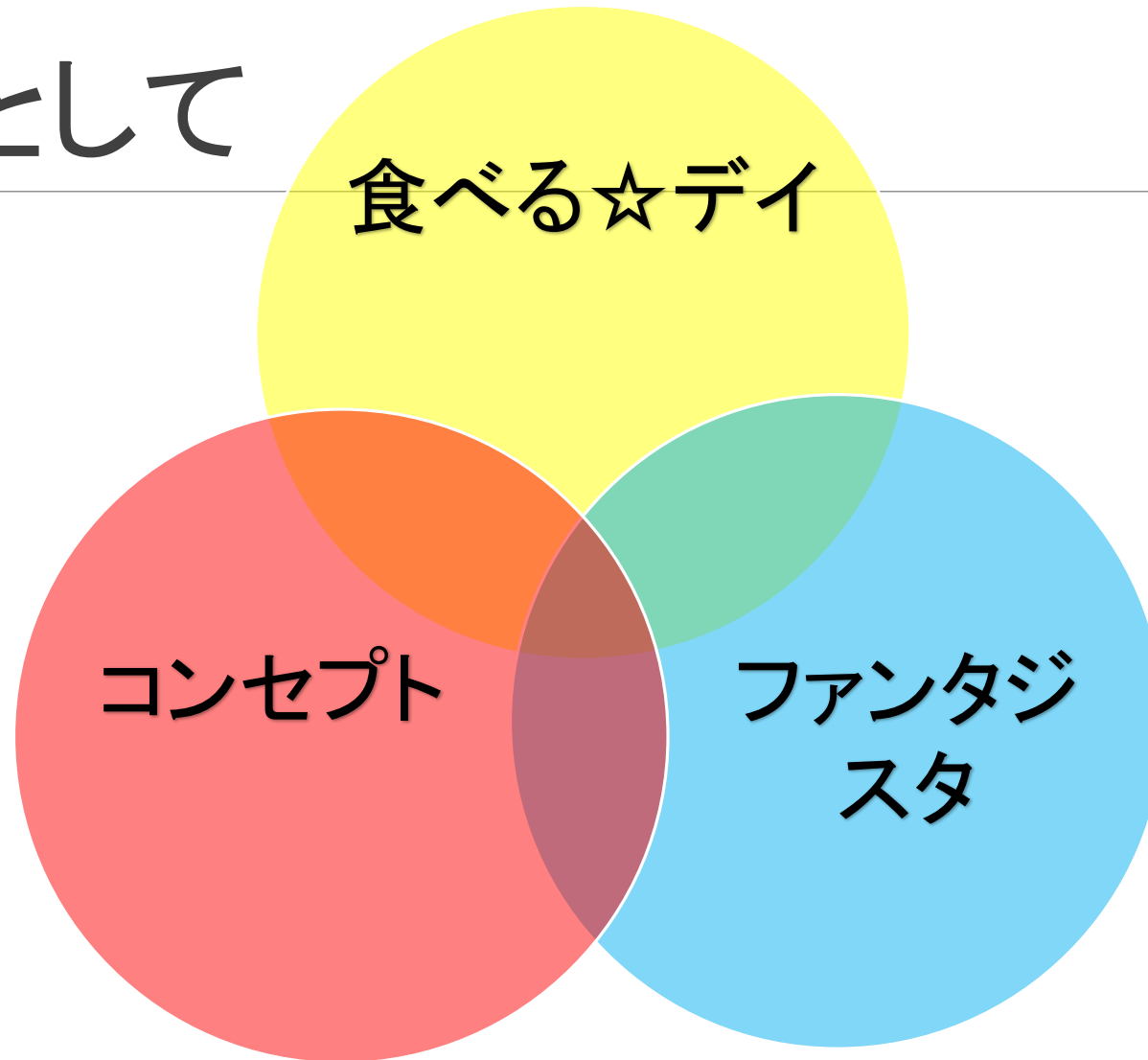


方向性を決める



ターゲットを絞っていく

方向性として



コンセプトの使命＝新食研の使命



でも・・・絶対に！

コンセプトとして何らかの商品を作ります！！

